

# モリメイト通信

本気で遊ぼう！モリメイト

## 6 月 6 日 (木曜日) モリメイトフィールドの整備いろいろ

【参加者：浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

10 名



水分補給のためひと休憩。花菖蒲園を訪れてくれる人を見ながら「花菖蒲きれいに咲いたね。」「嬉しいね。」「やりがいもあるね」とこの日は花菖蒲で会話が弾んでいた。

## 6 月 13 日 (木曜日) 公園内を散策・花菖蒲の花柄摘み

【参加者：池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中

10 名】



6 月の公園内を散策。スイレン池では赤と白のスイレンがちょうど見ごろを迎えていた。その次は、トンボ池に行きハッチョウトンボを探す。黄色い小さなトンボを発見。メ

スと思っていたが、後で調べると羽化したばかりのハッチョウトンボのオスであることが分かった。最後に昨年咲いていた場所にササユリを探しに行ったが今年は見ることができなかった。しかし、近くに生れたばかりの根生葉があったのでうまくいけば 7~8 年後には咲いてくれるはずである。ここで咲いているのがササユリにとっては一番いいのだが、心無い人が手折ったり、シカに食べられたりして森林公園内ではほとんど見られなくなってしまった。1 か所、薄紅色のササユリが 3 輪咲いているところがあったので絶やさないように見守っていきたい。

花菖蒲の半分ぐらいが咲き終わったので、花柄摘みをした。まだつぼみもあるのであと 1 週間ぐらいは楽しませてくれそうである。



### モリメイト募集

興味のある人読んでください

カブトムシの森の前の遊歩道沿いにモリメイト掲示板を設置して 2 か月半。散策の足を止めて読んでくれる人が増えてきました。モリメイト日記(活動日に公園内で見つけたことなど)は毎週、モリメイト通信とどっちがどっち(2者択一クイズ)は毎月更新していきますので、この前を通ったときは目を通してください。





# 6月20日(木曜日) 汗をめぐいながらクヌギの植樹地の草刈り

【参加者; 浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田美、鈴木哲、鈴木明

計7名】



サブコテージを左に見る遊歩道にネムノキの大樹がある。空を覆いつくすように薄紅色の花を咲かせていた。心を和ませてくれる優しい花である。

クヌギの植樹地1号から9号までそれぞれ分かれて草刈りを行った。できる限り日陰を選び、水分を取りながら行ったが、梅雨入り間近という蒸し暑い日で流れる汗を拭きながらの草刈りであった。何とか植樹地を一通り刈り



終わることができた。

その後、杉檜の林を散策しながら7月15日のイベントで使用するヒノキ3本を選びテープを巻いておいた。



クヌギの植樹1号地で草刈りをしているときにクヌギの木でノコギリクワガタを発見。数年前からこの場所によく見かけるようになった。

## モリメイト会議

- ・7月15日に行う、子ども達体験倶楽部の体験活動の内容・準備などについて
- ・保安林内間伐届書について
- ・緑化推進協会補助金事業の資金計画について

# 6月27日(木曜日) オオムラサキが飛び交うのを夢見てエノキを植樹

【参加者; 浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

計10名】

公園で育てたエノキの苗木6本をモリメイトフィールドのクヌギの森の近くに植樹した。

エノキの葉は、オオムラサキの幼虫が好んで食べることで知られている。オオムラサキは人と森とが深く関わり合っている里山のクヌギやコナラの雑木林に好んで棲んでいる。オオムラサキはエノキで生まれ、幼虫時代にはエノキの葉を食べ、蝶になるとクヌギの樹液を吸って生き、また、エノキに卵を産み、そしてエノキの近くで死んでいく。エノキとクヌギの雑木林は国蝶オオムラサキにとって生命の源である。植樹をしながら、エノキが成長して、このモリメイトフィールドのクヌギの森でオオムラサキが飛び交う日が来るのを思い描いていた。



## オオムラサキ



オス 約10cm



メス 約12cm

2週間ほどきれいな花を咲かせて楽しませてくれたハナショウブの花も終わりである。株を太らせ来年もたくさんの花を咲かせてくれるように花柄摘みをした。

